

製品名: PC-PLD3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15863**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PLD3
別名	PLD3; Phospholipase D3; PLD 3; Choline phosphatase 3; HindIII K4L homolog; Hu-K4; Phosphatidylcholine-hydrolyzing phospholipase D3
遺伝子 ID	23646.0
SwissProt ID	Q8IV08
免疫原	抗血清はヒト PLD3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 326-375

背景

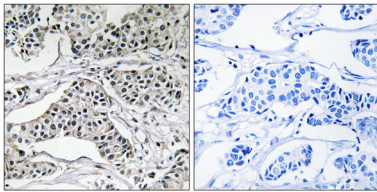
この遺伝子は、膜リン脂質の加水分解を触媒するホスホリパーゼ D (PLD) ファミリーの酵素をコードしています。コードされている

タンパク質は、1回膜貫通型のII型膜タンパク質で、2つのPLD ホスホジエステラーゼドメインを含んでいます。このタンパク質は、アミロイドβ前駆体タンパク質の処理に影響を与えます。この遺伝子の変異は、アルツハイマー病のリスクと関連しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2014年4月]、触媒活性: ホスファチジルコリン + H₂O = コリン + ホスファチジン酸。、PTM: グリコシル化。、類似性: ホスホリパーゼ Dファミリーに属します。、類似性: 2つのPLD ホスホジエステラーゼドメインを含みます。、組織特異性: 広く発現しています。脳でより高レベルで発現しています。脳梁では低レベルで発現しており、ニューロンでは高レベルで発現していることを示唆している。

研究分野

-

画像データ



PLD3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。